

新聞をめくって気になる記事を選び、お互いに紹介し合う参加者ら＝24日、読谷村立図書館



## 新聞の活用法学ぶ

### 読谷 図書館職員に出前講座

【読谷】琉球新報記者による出前講座「おでかけりゅうPON!」が24日、読谷村立図書館であった。同図書館職員8人が参加し、新聞から気になった記事を選んで、互

いに紹介し合うワークショップなどを楽しみながら、新聞の活用法を体験した。

琉球新報編集局NIE推進室の大城三太記者は社会面、市町村面など各ページの特徴や、記事の内容を端的に伝える見出しの工夫を紹介した。参加者はグループに分

かれて、記事から感じた「喜怒哀楽」や、なぜそう思ったのかを書いて説明し合うワークショップに挑戦。富銘由紀夫さん(35)は「人によって選ぶ記事やニュースへの見方もいろいろで楽しかった」と話した。上原泉さん(43)は「一日の始まりは情報にあり。図書館員としてアンテナを高くして業務を行うために、さらなる新聞の活用に取り組みたい」と述べた。

